

令和 8 年度 事業計画書

社会福祉法人中蒲原福祉会

〒950-0121 新潟市江南区亀田向陽2丁目6番1号

TEL 025-382-8251

FAX 025-382-8252

目 次

はじめに	1
1 法人の基本理念、基本方針	1
2 法人の重点目標	2
3 法人が運営する事業	3
4 職員配置	6
5 業務委託等	7
6 苦情解決	8
7 情報公開	8
8 新規事業	8
特別養護老人ホーム向陽の里 事業計画書	9
特別養護老人ホーム横雲の里 事業計画書	10
特別養護老人ホームこすど蒼丘の里 事業計画書	11
特別養護老人ホームなかかんの里 事業計画書	12
特別養護老人ホームかめだ本町の里 事業計画書	13
特別養護老人ホームにこやか 事業計画書	14
ショートステイかめだ早通の里 事業計画書	15
デイサービスセンター第2 蒼丘 事業計画書	16
デイサービスセンターリハフィットこうよう 事業計画書	17
グループホームこうよう 事業計画書	18
障害者支援施設あさひ園 事業計画書	19
障害福祉サービス事業フルールこすど 事業計画書	20
障害福祉サービス事業わかばの家 事業計画書	21
障害福祉サービス事業ネクサス・わかば 事業計画書	22
障害福祉サービス事業メイプルかめだ 事業計画書	23
障害福祉サービス事業メイプルかめだ2号館 事業計画書	24
障害福祉サービス事業メイプル・ぷらす 事業計画書	25
地域活動支援センターかめさん 事業計画書	26
四つ葉こども園 事業計画書	27
中新田こども園 事業計画書	28
地域子育て支援センターにこっと 事業計画書	29

はじめに

社会福祉法人中蒲原福祉会は平成 8 年に法人認可を受け、平成 9 年に県内初の特別養護老人ホーム向陽の里と身体障害者療護施設あさひ園の合築施設を開設して以来、幅広い事業展開をしながら地域に密着した社会福祉事業を運営して今日に至っている。

令和 8 年度は継続課題である「職員の確保」、更に「人財の育成」を最重要課題とする。また、法人として初めてとなる吸収合併に伴い、強みを統合し更なる発展を目指す。

1 法人の基本理念、基本方針

法人基本理念

「すべての人の笑顔と信頼のために」

- ・当法人に関わるご利用者・ご家族・地域住民・職員等全ての人が笑顔になれるように、当法人に関わる全ての人から信頼を得て、地域になくてはならない法人となることを目指す。

法人基本方針

「連携と協調」

- ・一人ひとりのご利用者を、法人内外、職種問わず関係者・全職員で支えていくこと。

「誠実さと思いやり」

- ・当法人は公設民営で設立され、実直（まじめ）で誠実な運営を行っている。職員も同様に自らの利害にとらわれず、関わる全ての人に対して誠実であること。
- ・ご利用者やご家族、他の職員に対して、相手の気持ちに思いを巡らせ心を寄せてサービスを行っていくこと。

「公正な評価と待遇」

- ・「職員満足がなければご利用者満足はない」との考えのもと、一生懸命ご利用者や法人のために貢献をする職員に対して、公正な評価を行いそれに見合った待遇をすること。

2 法人の重点目標

1 職員確保と人財育成

ホームページを「働く人の顔が見えるサイト」へと刷新する。具体的には、動画や SNS の連携をはじめ研修の様子や詳しい仕事内容等についても発信し、求職者が法人で働くイメージを具体化でき働きたくなるような PR を行う。また、大学、専門学校、高校等の学校との連携強化を図り、実習やインターンシップ等の幅広い受入れを行い新卒採用者数を増やす。外国人材については近年の労働力の減少も踏まえ、戦略的確保を行い、定着を目指す。

人財育成については、計画的に資格取得のバックアップを行う。実務者研修資格については専門学校と連携し資格取得しやすい環境づくりや法人の資格取得費用補助金の活用を推進する。新卒者の育成プランについては施設独自で行っていたが、法人として標準化し人財育成を図る。

キャリアパス研修では組織を牽引する核となる人材を配属前に養成することで、盤石な組織体制を構築する。

2 合併による組織基盤等の強化

4月1日に吸収合併した歴史ある中新田福祉会の特色ある取り組みやノウハウを継承し、強みを統合することで組織力の強化、サービスの質の向上、経営基盤の安定、地域への貢献拡大を目指す。具体的には、お互いの強みを可視化し、「変えること」と「変えないこと」を明確にする。また、スケールメリットを活かした経営を行うことで経営基盤の安定を図る。合併によるメリットを活かしながら地域の信頼を高め、地域に選ばれる法人を目指す。

3 業務改善による効率化

生産性向上を運営の柱とし、業務の抜本的な見直しを推進する。これまでの慣習にとらわれず、不要な業務を思い切って廃止・整理することで、限られた時間を有効に活用する。また、ICT 活用については、Google Workspace による法人内の情報共有基盤が確立されており、施設を越えた迅速な連携が可能となっているが、さらなるデジタル化、IT 活用の推進を図り、業務のスリム化と生産性向上を目指す。

3 法人が運営する事業

法人本部
1 介護職員等による喀痰吸引等研修 定員 20 人
特別養護老人ホーム向陽の里
1 介護老人福祉施設 定員 80 人
2 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 16 人 障害福祉サービス事業（短期入所・空床利用型）
3 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 28 人 共生型生活介護事業（障がい者向けデイサービス・空床利用型）
4 居宅介護支援事業
5 生活援助員派遣事業亀田向陽住宅（新潟市委託事業）
特別養護老人ホーム横雲の里
1 介護老人福祉施設 定員 50 人
2 地域密着型介護老人福祉施設 定員 20 人
3 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 49 人 障害福祉サービス事業（短期入所・空床利用型）
4 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 35 人、土曜・日曜 30 人 共生型生活介護事業（障がい者向けデイサービス・空床利用型）
5 居宅介護支援事業
特別養護老人ホームこすど蒼丘の里
1 介護老人福祉施設（定員 70 人）
2 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 20 人 障害福祉サービス事業（短期入所・空床利用型）
3 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 35 人、日曜 30 人 共生型生活介護事業（障がい者向けデイサービス・空床利用型）
4 居宅介護支援事業
特別養護老人ホームなかかんの里
1 介護老人福祉施設 ユニット型：定員 60 人、従来型：定員 40 人
2 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 20 人 障害福祉サービス事業（短期入所・空床利用型）
特別養護老人ホームかめだ本町の里
1 地域密着型介護老人福祉施設 定員 29 人
2 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 10 人
3 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業 居宅介護・重度訪問介護事業（障がい者向けホームヘルプサービス）

特別養護老人ホームにこやか
1 地域密着型介護老人福祉施設 定員 29 人 2 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 10 人 3 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 25 人、土曜 20 人
ショートステイかめだ早通の里
1 短期入所生活介護事業・介護予防短期入所生活介護事業 定員 48 人 障害福祉サービス事業（短期入所・空床利用型）
デイサービスセンター第 2 蒼丘
1 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 25 人、月曜～土曜 2 生活援助員派遣事業小須戸大川前住宅（新潟市委託事業）
デイサービスセンターリハフィットこうよう
1 通所介護事業・介護予防通所介護相当サービス事業 定員 35 人
グループホームこうよう
1 認知症対応型共同生活介護 予防介護含む定員 9 人
障害者支援施設あさひ園
1 施設入所支援・生活介護事業 定員 20 人 2 短期入所事業 定員 4 人 3 日中一時支援事業 定員 4 人
障害福祉サービス事業フルールこすど
1 生活介護事業 定員 20 人 2 就労継続支援 B 型事業 定員 35 人 3 相談支援事業
障害福祉サービス事業わかばの家
1 生活介護事業 定員 15 人 2 就労継続支援 B 型事業 定員 45 人 3 日中一時支援事業 定員 6 人 4 相談支援事業
障害福祉サービス事業ネクサス・わかば
1 生活介護事業 定員 40 人 2 就労継続支援 B 型事業 定員 20 人 3 短期入所事業 定員 12 人 4 放課後等デイサービス事業 定員 10 人

障害福祉サービス事業メイプルかめだ
1 就労継続支援B型事業 定員 40 人 2 グループホーム事業定員 14 人（男性 7 人＋女性 7 人）
障害福祉サービス事業メイプルかめだ 2 号館
1 就労移行支援事業 定員 7 人 2 自立訓練（生活訓練） 定員 13 人 3 就労定着支援事業
障害福祉サービス事業メイプル・ぷらす
1 就労継続支援A型事業 定員 15 人 2 就労継続支援B型事業 定員 37 人
地域活動支援センターかめさん
1 地域活動支援センターⅢ型事業 定員 20 人 2 サポート相談事業
四つ葉こども園
1 保育所型認定こども園 定員 115 人（1 号 15 人、2・3 号 100 人） 2 一時預かり事業（拠点園）
中新田こども園
1 保育所型認定こども園 定員 83 人（1 号 5 人、2・3 号 78 人） 2 一時預かり事業
地域子育て支援センターにこっと
1 地域子育て支援拠点事業

4 職員配置

非常勤職員の配置や業務委託をバランスよく取り入れた構成としている。

令和8年4月1日現在

事業所名	常勤	非常勤	派遣	育休 休職	合計
法人本部					
法人本部	7	3	0	0	10
高齢者事業					
特別養護老人ホーム向陽の里	53	34	0	2	89
特別養護老人ホーム横雲の里	61	55	0	2	118
特別養護老人ホームこすど蒼丘の里	50	61	3	2	116
特別養護老人ホームなかかんの里	51	40	1	2	94
特別養護老人ホームかめだ本町の里	25	10	1	1	37
特別養護老人ホームにこやか	24	17	0	0	41
ショートステイかめだ早通の里	22	13	0	2	37
デイサービスセンター第2蒼丘	3	9	0	0	12
デイサービスセンターリハフィットこうよう	5	8	0	0	13
グループホームこうよう	6	4	0	0	10
障がい者事業					
障害者支援施設あさひ園	11	6	0	1	18
フルールこすど	8	22	0	1	31
わかばの家	16	13	0	1	30
ネクサス・わかば	30	27	0	3	60
メイプルかめだ	12	16	0	0	28
メイプルかめだ2号館	8	1	0	0	9
メイプル・ぶらす	12	6	0	0	18
かめさん	2	4	0	0	6
保育事業					
四つ葉こども園・にこっと	14	27	0	0	41
中新田こども園	16	21	0	0	37
合計	436	397	5	17	855

5 業務委託等

委託業務	委託業者（敬称略、順不同）
労務	社会保険労務士水戸事務所
会計	会計監査人 あすの監査法人 税理士法人 さくら総合会計事務所
弁護士	顧問弁護士 しなのがわ総合法律事務所
嘱託医	亀田第一病院 森川医院 こうなん family クリニック 片桐医院 押木内科神経内科医院 清野医院 丸山診療所 堀クリニック 吉田医院 こどもの森クリニック 加藤医院
協力病院	亀田第一病院 新津医療センター病院
協力歯科、嘱託歯科	かざま歯科クリニック 三浦歯科医院 小林歯科医院 丸山歯科医院 みゆき歯科医院 枝並歯科クリニック 枝並歯科医院 海津歯科医院 うらら歯科 みのりデンタルクリニック
看護業務、訪問看護	ナースパートナー 訪問看護ステーション tete
給食業務	石本商事 日本フードリンク フルールこすど メイプル・ぷらす
弁当配達業務	わかばの家 ネクサス・わかば かめさん
洗濯業務	シルバー人材センター フルールこすど メイプル・ぷらす
宿日直業務	シルバー人材センター

委託業務	委託業者（敬称略、順不同）
施設清掃、園舎整備	シルバー人材センター ケイクリーンサービス ほほえみ作業所 のびのび フルールこすど わかばの家 ネクサス・わかば メイプルかめだ メイプル・ぷらす

6 苦情解決

- ・各事業所の苦情解決責任者と苦情受付担当者が、ご利用者及びご家族から苦情を受け付けた際には責任をもって解決する。
- ・年に一度苦情解決第三者委員会を開催して苦情内容を全事業所で共有するとともに、第三者委員からの意見を参考にして事業の改善を図る。委員会で検討した苦情の内容はホームページに公開する。

7 情報公開

- ・法律、法令や制度に基づき、経営情報等を公開し、社会福祉法人として運営の透明性を確保する。
- ・公表対象となる事業報告及び決算報告、財務状況の分かる書類等は主たる事務所等に備え置くとともに、必要なものはホームページで公開しいつでも閲覧できるようにする。

8 新規事業

- ・吸収合併に伴い、新潟市秋葉区にて中新田こども園の運営及び一部土地取得を行う。
- ・メイプルかめだのサービスを切り分け、新たにメイプルかめだ 2 号館として新規指定を受け運営する。

特別養護老人ホーム向陽の里 事業計画書

1 施設の基本方針

「利用者と職員が一緒に喜び楽しむ「まんぷく」生活」

ご利用者がその人らしい生活を継続し、心地良い気持ちで心のまんぷくを感じていただけるよう支援する。苦楽をともにしながら思いを共有し、笑顔と心のこもったホスピタリティあふれる接遇を行う。

2 施設の重点目標

「働きやすい職場づくり」

職員一人ひとりが安心して長く働ける職場づくりを推進する。その為に、コミュニケーションを大切にし、お互いの立場や考えを理解し合い、話しやすく相談しやすい雰囲気づくりと風通しの良い環境、お互いを称賛し合える風土を作る。更に、ユニットや部署単位ではなく、施設全体で支え合う柔軟な対応と体制を取るよう意識を高めていく。それにより、チーム力及び生産性の向上につなげ質の高いサービスを継続的に提供していく。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（従来型）	80 人	96.0%	76.8 人／日	
短期入所	16 人	92.0%	14.7 人／日	
通所介護	28 人	70.0%	19.6 人／日	
居宅介護	176 件	80.0%	140.8 件／月	支援は 3 件で 1 件計算

居宅の定員はケアマネ 1 名あたり月 44 件とした件数

4 その他

- ・経年劣化による設備等の計画的な入れ替えや修繕を行う。
- ・向陽園建物の劣化、構造的な支援の不便さの解消のため、部分的なリフォームを行う。
また、地域ニーズの大きな変化により受入れ対象者層を変更し運営体制の見直しを行う。

特別養護老人ホーム横雲の里 事業計画書

1 施設の基本方針

「すべては利用者と職員の笑顔のために」

自立支援の観点から、ご利用者が自立した日常生活を営むことができるよう心身の状態をしっかりと見極め、できるところは更に伸ばし、できないところの援助や支援を行っていく。また、ご利用者と職員ができたことをともに喜び笑顔になれるよう関わりの機会を設け、気持ちに寄り添い共感できるよう信頼関係を深めていく。そのためにも各部署の情報交換を頻繁に行い、横のつながりを強化し、適切なサービスの提供に繋げる。

2 施設の重点目標

「業務の効率化と連携の強化による働きやすい環境づくり」

昨年度の重点目標であった「職員の倫理意識と接遇の向上」については、毎月の会議にて振り返りを行うことを定例化し、職員同士が意識しあえる環境づくりを継続する。

今年度は労働環境づくりに力を入れる。そのために各部署、各業務に対しての適正人数をしっかりと把握し、適切な人員を配置する。不意な欠員が生じた場合でも、部署間で話し合い、不足時間を互いに補いスムーズに業務が行えるよう連携を図る。また、インカムなどの ICT 機器、スライディングボードやシート等の介護用品の積極的な導入を行い、業務の効率化を図り、職員の負担を軽減するとともに利用者が安全で快適に過ごせるよう支援する。そしてそれらが職員の働きやすさにつながるよう努めていく。

介護記録システムの効率的な活用と業務改善により、職員の負担軽減と質の良いサービスの提供を図る。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（従来型）	50 人	96.0%	48.0 人／日	
特養（地域密着型）	20 人	95.0%	19.0 人／日	
短期入所	49 人	91.8%	45.0 人／日	
通所介護	35 人	80.0%	28.0 人／日	定員は土・日 30 人
居宅介護	220 件	80.0%	176.0 件／月	支援は 3 件で 1 件計算

居宅の定員はケアマネ 1 名あたり月 44 件とした件数

4 その他

- ・施設の老朽箇所の修繕及び入れ替えを行い快適な職場環境をつくる。

特別養護老人ホームこすど蒼丘の里 事業計画書

1 施設の基本方針

「いつまでもその人らしくいきいきと」

アットホームな雰囲気作りと、プライバシーが保てるケアを行う。ご利用者がサービスを受けることで、温かい気持ちになれるような言葉遣いを行う。また、気持ちに寄り添い、親しみや敬意を持った対応に努め、ユニット型施設の特徴を活かす。さらに、その時々に対応しい介護・家庭的な介護・心に寄り添う介護を施設全職員が提供する。

2 施設の重点目標

「働きやすい職場づくり」

お互いを認め合い尊重しあうために、他者の批判やうわさ話等はせず思いやりのある良好な関係性を構築し、心地良い雰囲気づくりを行う。

館内の整理整頓やレイアウト変更を行い、ご利用者にとっては過ごしやすく、職員にとっては働きやすく、来訪者にとっては、建物は古くてもきれいに見えるように環境を整える。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（ユニット型）	70 人	95.0%	66.5 人／日	
短期入所	20 人	95.0%	19.0 人／日	
通所介護	35 人	77.1%	27.0 人／日	定員は日曜 30 人
居宅介護	220 件	84.0%	185.0 件／月	

居宅の定員はケアマネ 1 名あたり月 44 件とした件数

4 その他

- ・前年度導入したインカムの活用及び浸透を図る。
- ・パート職員に多様な働き方を提案し、適正な職員配置に近づける。

特別養護老人ホームなかかんの里 事業計画書

1 施設の基本方針

「「思いやり」をモットーに利用者・職員・地域住民が幸せになる施設をつくる」

思いやりとはご利用者・ご家族・職員など、施設に関わる人々の思いを汲み取りながらサービスを提供することである。

2 施設の重点目標

「みなさまから選ばれる施設になる」

特養では入居受け入れ条件を柔軟化し、積極的に受け入れる。〇〇だから受け入れができないではなく、〇〇すれば受け入れられると考える。

短期入所では、感じの良い職員による温かい介護を提供し、リハビリやレクリエーション、行事を充実させ、ニーズに対応できるようにする。居宅事業所や病院との連絡を密にして積極的に情報交換を行う。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（ユニット型）	60 人	95.0%	57.0 人／日	
特養（従来型）	40 人	98.0%	39.2 人／日	
短期入所	20 人	96.0%	19.2 人／日	

4 その他

- ・認知症チームケアを推進し、介護の質を向上させ不適切なケアを防ぐ。
- ・設備や備品のメンテナンスを行う。（電気設備、給湯器、厨房の食器等）

特別養護老人ホームかめだ本町の里 事業計画書

1 施設の基本方針

「スープの冷めない距離」

距離感を大切にしたサービス提供を行う。家庭的な雰囲気の中でサービスを提供しながらも、ご利用者がお客様であることを忘れることなく、節度と敬意をもって接する。

2 施設の重点目標

「安全・安心な継続的介護を行い地域に貢献する」

施設サービスでは、ご利用者・ご家族の意向を踏まえ、その方らしい生活スタイルで日常生活が送れるよう多職種が協働して施設サービス計画書に基づいたサービスを提供する。また、可能な限りご家族とふれ合える時間を設け、開かれた施設となるよう職員の意識を高める。訪問介護では、ご利用者が可能な限り住み慣れた自宅で自立した生活が送れるよう支援をする。居宅介護支援事業所、保健医療サービス、福祉サービスと密接に連携することにより地域のニーズを把握し、ニーズに合ったサービス提供を検討する。

施設サービス・訪問介護いずれもサービス利用の相談があった場合には、ご本人、ご家族の状況を理解し、懇切丁寧な説明を行うことによって、安心してサービス利用できるように支援する。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（ユニット型）	29 人	95.0%	27.6 人／日	
短期入所	10 人	92.0%	9.2 人／日	
訪問介護			月訪問時間 650.0 時間 月利用者数 80.0 人	

4 その他

・幅広い人材を受け入れ、きめ細かいサポートを行い貴重な働き手となるよう人材育成に努める。

特別養護老人ホームにこやか 事業計画書

1 施設の基本方針

「笑顔があふれる空間にしたい「にこやか」に住む人、集う人、働く人…皆が笑顔になれる空間を作ります」

ご利用者の生きがいを共に探し、ご利用者から選択していただける施設を作る。会話の機会を増やし、コミュニケーションを密にし、満足感と安心感のあるサービス提供ができる職員体制を整え、笑顔あふれる空間を目指していく。

2 施設の重点目標

「サービスの質の向上」

家庭的な雰囲気の中でも、接遇の基本である挨拶、身だしなみ、丁寧な言葉遣いを意識する。また、「ご利用者の同意を得る」「選択の機会を提供する」ことを徹底し、ご利用者の意思を尊重する自立支援を行う。接遇の研修や評価を実施し、質の更なる向上を目指す。

介護記録システムの効率的な活用と業務改善により、職員の負担軽減と質の良いサービスの提供を図る。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
特養（ユニット型）	29 人	95.0%	27.5 人／日	
短期入所	10 人	95.0%	9.5 人／日	
通所介護	25 人	72.0%	18.0 人／日	

4 その他

- ・各居室のルームエアコンに経年劣化が見られるため入れ替えを行う。
- ・電気温水器について、前年度の補助事業による更新対象外の箇所を入れ替える。
- ・生産性向上として温冷配膳車の入れ替えを行い、配膳時の業務効率化を進める。

ショートステイかめだ早通の里 事業計画書

1 施設の基本方針

「ゆったり笑顔の生活」

ご利用者やご家族と信頼関係を築き、「ご利用者がいつも笑顔でゆとりある生活」を送ることができるよう支援をする。そのために、職員はコミュニケーションを取り情報を共有する。利用者の個々のニーズと意思を尊重し、誠意を持って質の高いサービスを提供する。そして「選ばれる施設」を目指す。

2 施設の重点目標

「職員が安心して働ける環境を確保する」

職員全員に共通する明確なルールを作り生産性の向上につなげる。当日の勤務表の一番上の職員が、その日のリーダーとして施設内で起きる出来事・災害等の起こりうる危機について想定し、施設全体を見ながら業務を遂行する。生産性向上を目指し、重要度の低い業務や簡略化できる業務があれば、積極的に改善を図る。ご利用者の権利擁護につながるよう、介護職員等の負担を減らし、できるだけストレスのない状態で仕事ができる環境を整える。「いつでも全員に伝達できるインカムの良さ」を最大限に利用し、コミュニケーションを更に広げ、職員の体力的・心理的負担の軽減につなげる。また、研修への積極的な参加を促し、様々な情報を収集し固定観念にとらわれずあらゆる物事を多角的に考えられる職員の育成を目指す。自分目線から相手目線に変え、職員間の円滑なコミュニケーションを重視し、組織全体の力を高める。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
短期入所	48 人	93.0%	44.6 人／日	

4 その他

- ・法人キャリアパス制度の「自分の役割、自分に求められること」を各自確認し、それに応える働き方をする。
- ・かめだ早通の里のカスタマーハラスメント基本方針の周知と、知識と対応についての研修を実施し、安心して働ける環境を確保する。
- ・LED交換工事、老朽化しているエアコンの更新工事を行う。

デイサービスセンター第2 蒼丘 事業計画書

1 施設の基本方針

「いつまでも住み慣れた地域で」

アットホームなサービスを提供することで、楽しく安心して地域での生活を継続できるよう手助けを行う。明るく丁寧な言葉遣いや心がけ、環境作りに努める。

2 施設の重点目標

「余暇を充実させ、ニーズに合ったサービスを行い、利用者満足を目指す」

自分の役割を感じることができる調理レクリエーションを頻繁に行い、元気な方が集まる施設にする。機能訓練、外出、カラオケ（演奏会）なども、ご利用者のニーズに合わせて行う。また、地域のボランティアを積極的に受け入れて、活気ある施設にする。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
通所介護	25 人	80.0%	20.0 人／日	

4 その他

- ・小規模施設の特色を活かし、ご利用者の要望に可能な限り応える。

デイサービスセンターリハフィットこうよう 事業計画書

1 施設の基本方針

「わたしの1日」

ご利用者自身でやりたいことや食べたいもの等を選択していただき、個性ある1日を過ごしていただけるように支援する。

日課の中でもリハビリに重点をおき、理学療法士を中心に機械を使用した専門的なリハビリを行い、生活に活かされるようなリハビリを実施する。またカラオケやドリンクバー等、ご利用者に合わせたサービス提供をし、身も心も豊かになるようなサービス提供を目指す。

2 施設の重点目標

「質の高いサービスの提供」

ご利用者の要望に耳を傾け、満足度の高いリハビリや支援を提供できるようにつなげていく。職員間でしっかりと情報共有できるよう、お互いに声を掛け合う。また「丁寧な言葉遣い、元気な挨拶、誠実な対応」を合言葉に心のこもった接遇を実践する。更に、お互いの立場や考えを理解し合い、個々に与えられた役割に応えられるよう努め、チーム力の向上や生産性の向上に繋げていく。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
通所介護	35人	92.0%	32.2人／日	

4 その他

- ・経年劣化によるエアコンの入替やその他計画的な修繕を行う。

グループホームこうよう 事業計画書

1 施設の基本方針

「笑顔ある安心できる毎日」

笑顔で寄り添い、お互いに支えあう生活を大切にする。その人らしさを大切にしながらご利用者の気持ちに寄り添い、信頼関係を育んでいく。家庭的な環境の中で、ご利用者、職員共に一人ひとりが役割を持ちながら、笑顔で支えあう生活を目指す。

2 施設の重点目標

「個別ケアの実践とチームケアの質の向上」

個別ケアの充実を継続し、ご利用者一人ひとりの思いや役割を大切にした支援を行うことで、安心感や満足に繋がる暮らしを実現する。あわせてご家族とのつながりを大切に、信頼関係を深める。職員の研修や資格の取得を推進し、専門性や技術の向上に努めることでやりがいを持ちながらチームワークの向上と個々のスキルアップにつなげ、サービスの質の向上を目指す。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
認知症対応型共同介護	9人	98.0%	8.8人／日	

4 その他

特になし

障害者支援施設あさひ園 事業計画書

1 施設の基本方針

「利用者と職員が一緒に喜び楽しむ「まんぷく」生活」

ご利用者がその人らしい生活を継続し、心地良い気持ちで心のまんぷくを感じていただけるよう支援する。苦楽をともにしながら思いを共有し、笑顔と心のこもったホスピタリティあふれる接遇を行う。

2 施設の重点目標

「働きやすい職場づくり」

職員一人ひとりが安心して長く働ける職場づくりを推進する。その為に、コミュニケーションを大切にし、お互いの立場や考えを理解し合い、話しやすく相談しやすい雰囲気づくりと風通しの良い環境やお互いを称賛し合える風土を作る。更に、ユニットや部署単位ではなく、施設全体で支え合う柔軟な対応と体制を取るよう意識を高める。それにより、チーム力の向上及び生産性の向上につなげ質の高いサービスを継続的に提供していく。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
施設入所支援	20 人	98.0%	19.6 人／日	
短期入所	4 人	100.0%	4.0 人／日	
日中一時支援	4 人	50.0%	2.0 人／日	

4 その他

- ・経年劣化にともない、計画的に設備等の入れ替えや修繕等を行う。
- ・多様化する障害特性に対応できるよう環境整備を整え、サービスの質を高める。

障害福祉サービス事業フルールこすど 事業計画書

1 施設の基本方針

「利用者のこうなりたい！○○したい！に応えたい」

地域で生活する障がい者が、希望をもって自分らしく暮らしていけるような環境を提供する。ご利用者が、自分も社会の一員だということを感じながら安心して過ごせるよう、職員やご家族、関係者が深いつながりと信頼関係をもって支えていく。

多様なニーズに応えるために、施設としての特色を持ち、ご利用者全員が夢を叶えられる未来のある施設づくりを行う。

2 施設の重点目標

「接遇の質の向上に努める」

職員の接遇向上を目指し、言葉遣いや振る舞いなど社会人としての基礎的な部分から専門性を活かした支援が提供できるように取り組む。

職員全体で接遇を振り返り、職員一人ひとりが良いお手本になれるよう意識する。また、日々の業務において、職員同士の会話や情報共有の場面でも気持ちの良い言葉遣いを心がけ、ご利用者、ご家族から、「フルールに任せて安心」と思われる態度で接する。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
生活介護	20 人	95.0%	19.0 人／日	
就労継続支援 B 型	35 人	95.0%	33.5 人／日	
相談支援センターフルール	—	—	24.0 人／月	

4 その他

・小須戸、矢代田地域の自治会からの委託作業を通して、地域との連携を深め、利用者の工賃向上につなげる。

障害福祉サービス事業わかばの家 事業計画書

1 施設の基本方針

「笑顔が溢れる場所へ」

ご利用者の願いや想いを職員と紡ぎ、楽しく笑顔が溢れるふれあいの場を目指す。職員も気持ちよく働くために家庭とのワーク・ライフ・バランスを保ちながら、ご利用者、職員お互いが働き甲斐を感じられる職場にする。感謝の気持ちを忘れず、ともに人間的成長ができるように努める。

2 施設の重点目標

「基本に立ち返った業務の見直しとサービスの質の確保」

法人で最も歴史ある就労継続支援B型・生活介護の事業所として、基本的なことを確実にこなし、サービスの質において派手さはないが、安心してご利用者を任せられる揺るぎない施設を目指す。

限られた人員で効果的・効率的にご利用者を支援できるよう、間接業務のパターン化や簡素化を進め、時間や労力を割くべき本来業務に重点を置くことができる仕組みを構築する。また、職員間の報告・連絡・相談の充実、コミュニケーションスキルの向上に取り組み、ミスやトラブルの発生しにくい土壌を形成するとともに、全職員の仕事に対する姿勢や業務上求められる共通認識の水準を高めていくことで、ご利用者やご家族に対していつ、誰が対応しても、いつも安定したサービスを提供できる体制づくりに取り組む。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
生活介護	15 人	100.0%	15.0 人／日	
就労継続支援B型	45 人	93.0%	42.0 人／日	
日中一時	6 人	2.0%	0.1 人／日	
相談支援センターわかば	—	—	96.0 件／月	

4 その他

- ・ご利用者の年齢層が上がったこともあり、医療的な面から不安定になるケースも増加傾向にある。また、行動障がいによる影響が大きなお利用者も抱えていることから、研修や急変時の訓練を重ね、対応の向上に努める。

障害福祉サービス事業ネクサス・わかば 事業計画書

1 施設の基本方針

「ネクサス、こめっとに関わるすべての人がハッピーに！」

ご利用者はもとよりご家族や職員も幸せになれる施設を目指す。ノーマライゼーションの理念に基づき、障がいの有無にかかわらず誰もが個性を輝かせ、笑顔で元気に過ごせる施設づくりを行う。また、日々の活動を通じて社会性や自主性、協調性を育み、豊かに人間的な成長もできるよう支援する。

2 施設の重点目標

「居心地の良い空間を創造する」

ご利用者の特性を深く理解し、心身ともにリラックスできる環境を整えていく。個々の課題に迅速に寄り添い、解決へ導くことで安心と笑顔のあふれる施設を目指す。

児童については、家庭・学校・関係機関と密接に連携し、児童の特性に応じた一貫性のある支援体制を構築する。五領域をふまえた多角的な視点と地域資源の活用により、医療ケアが必要な児童を含むすべての児童が、放課後等に安心して過ごしながらか社会性を育める環境を整えていく。

また、職員一人ひとりが個性を認め合い、当事者意識を持って助け合うチームを目指す。職員が働きがいを感じる環境を整え、専門的な研修を受講する機会を設け、意欲を最大化しご利用者への最良な支援へとつなげていく。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
生活介護	40 人	100.0%	40.0 人／日	
就労継続支援 B 型	20 人	90.0%	18.0 人／日	
短期入所	12 人	137.0%	16.4 人／日	
放課後等デイサービス	10 人	95.0%	9.5 人／日	

4 その他

- ・各種補助金を積極的に活用し、ご利用者の障がい特性に応じた環境整備と職員が支援しやすく働きやすい環境を整えサービスの質を高める。
- ・積極的に緊急時の受入れや体験の場を提供し、地域の社会資源として自治体のニーズに対応する。

障害福祉サービス事業メイプルかめだ 事業計画書

1 施設の基本方針

「地域で暮らす障がい者の日々の生活をサポートし、自分のペースで行う作業を提供する」

提供する「就労活動」を通して、地域で生活している障がい者が自分らしく過ごすため、理想とする暮らしを実現するためのきっかけづくりを提供するとともに、作業を通して社会の一員として過ごすために必要な力を得ることができる手助けとなることを目指す。

2 施設の重点目標

「施設の稼働率向上と工賃向上に対する体制づくり」

サービス管理責任者を中心として稼働目標達成に向けて取り組み、ご利用者一人ひとりの工賃目標達成が可能となる機会や環境及び支援の提供について取り組んで行く。稼働率・工賃向上が施設の運営に重要であることを全職員が理解し、日々の業務を通じて、具体的な成果につなげていく。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
就労継続支援B型	40人	95.0%	38.0人／日	
共同生活援助	14人	97.0%	13.5人／日	

4 その他

- ・江南区商・農・福連携推進事業との関わりを強化して、就労継続支援B型事業利用者の工賃向上に努める。
- ・現在カフェ営業を火水金の週3日行っているが、工賃向上のため週5日営業を実施する体制づくりを行う。
- ・共同生活援助（グループホーム）利用に関する費用について、物価高騰の影響等を精査した上で、算定していない費用を徴収する必要があるか検討する。

障害福祉サービス事業メイプルかめだ2号館 事業計画書

1 施設の基本方針

「地域で生活する障がい者の社会参加に向けた第一歩をサポートし、自分らしい暮らしについて考えることのできる活動と時間を提供する」

提供する「就労支援」と「生活支援」を通して、地域で生活している障がい者が自分らしいライフデザインを描き、理想とする暮らしを実現することができるような社会参加のきっかけを提供するとともに、社会人として自立した生活の営みに必要な力を得ることができる社会資源であることを目指す。

2 施設の重点目標

「利用者に対する手厚い個別支援体制」

職員は、ご利用者の希望（目標）の達成が可能となる機会や環境及び支援の提供について取り組んで行く。実効性のある個別支援計画の作成や計画を着実に実行できる質の高いサービスを提供することを職員一人ひとりが常に意識しながら業務を行う。

また、適切な支援課題の確認（アセスメント）を実施し、支援経過を確実に記録を残すことで状況把握するとともに目標の達成状況を確認する。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
就労移行支援	7 人	90.0%	6.3 人／日	
自立訓練（生活訓練）	13 人	80.0%	10.4 人／日	
就労定着支援			6.0 件／月	

4 その他

- ・メイプルかめだから分離開所となったが、実施サービスが利用期間の定めがある事業であるため、地域での知名度を向上するための取り組みを行う。

障害福祉サービス事業メイプル・ぷらす 事業計画書

1 施設の基本方針

「共に働き、共に成長」

ご利用者、職員が一緒に働きながら、成長できるように日々を過ごす。一般企業での就労が困難なご利用者でも、それぞれの適性に配慮した幅広い作業の提案や環境整備、職員による適切な支援を行うことで、活躍の場を見出し、継続的で安定した就労の実現を目指す。

さらに、ご利用者の能力開発、心身の健康管理、体力の向上に努め、就労に見合った対価となる工賃の獲得とさらなる向上を常に意識し、やりがいを感じながら自立した生活を送れるよう支援することを通じて、職員自身も経験を積み、さらなる成長を目指す。

2 施設の重点目標

「施設の位置付けと支援の方針の具体化による経営の健全化」

近年の利用者層の推移や障がい者の雇用をめぐる情勢の変化に理解を深め、働きたい施設として関心を持ってもらうため、そして長く働きたいと感じてもらえるためには何が必要かを改めて考え、施設の位置付けと支援の方針を明確にしていく。支援の質を高めることでご利用者が定着し、活動先施設から求められる労働力を安定して供給できる施設となることで、経営の健全化を目指す。

このために、職員研修の機会を増やし、増加傾向にある精神障がいを抱えるご利用者に対する理解を深めるとともに、活動先拠点ごとにその魅力ややりがい、支援のノウハウを職員自ら発信して施設内で共有することで、支援の幅を広げるよう取り組む。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
就労継続支援A型	15人	88.0%	13.2人／日	
就労継続支援B型	37人	91.0%	33.7人／日	

4 その他

- ・ご利用者の状態に応じて作業の選択肢を増やすため、施設内で行える作業を充実させるとともに、障がい特性に配慮した環境整備を進める。

地域活動支援センターかめさん 事業計画書

1 施設の基本方針

「マイライフ、マイペース、マイプラン」

自身の障がいを受け入れるきっかけや本来の自分を見つけ出す機会を提供する。地域で生活している障がい者に安心して活動できる「場」・過ごせる「場」を提供する。また、ご利用者やご家族から様々な悩みごとや困りごとについて相談を受け、必要な時には関係機関と連携をとりながら助言等の相談支援や生活スキルの向上を目指した行事、社会参加等の機会を提供する。

さらに、就労継続支援B型等の次のステージに向かおうとすご利用者者の後押しができるよう、ここでの活動がステップとしての「場」にもなれるようにする。

2 施設の重点目標

「利用者の社会参加を応援する」

ご利用者に対して、地域で行なわれているイベントや施設が企画する外出行事等に積極的な参加を促していく。このことが、地域住民との交流の場を増やすことにつながり、ご利用者の社会参加のきっかけづくりとなる。更に、ご利用者と地域住民が気持ちよく共生していける関係を構築することを目指していく。

3 達成数値目標

実施事業	定員	稼働率	目標数	備考
地域活動支援センターⅢ型	20 人	70.0%	14.0 人／日	
サポート相談			50.0 件／月	

4 その他

- ・新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉からの問合せや見学申し込みがコンスタントにあるため、他のセンター（東及び中央）にも働きかけて新規獲得につなげていく。

四つ葉こども園 事業計画書

1 施設の基本方針

「子どもを第一に考え、遊びと生活を通して生きる力・人と関わる力を培う」

- ・楽しく落ち着いた環境の中で、たくさんの愛情を注ぎ丁寧で温かい教育・保育を提供する。
- ・一人ひとりを大切にし、生命の保持と情緒の安定を図っていく。
- ・五感を通して自然に触れ、体験を通して自ら気づきや発見を得ながら豊かな感性を育てる。
- ・運動機能を向上させ、自ら安全を守り危険を回避する運動機能を身につける。
- ・子ども、保護者、保育者、地域が共に育ち合い、安心して預けられるこども園を目指す。
- ・こども園の保護者、地域の子育て家庭を関係機関と連携しながら見守り支える。

2 施設の重点目標

「子どもの最善の利益（幸福）の追求」

一人ひとりの子どもの最善の利益を追求するために、全職員が高い倫理観と専門性を持ち、養護と教育を一体的とした教育・保育に努める。

一人ひとりの子どもの育ちや気持ちに寄り添いながら、遊びと生活を通して成長・発達を支援する。また、乳児は担当制の中で愛着関係を結び、あたたかく受容的で応答的な保育を行う。

保護者の家庭環境を理解し、保護者が安心して子育てできるように、全職員が保護者に寄り添い各関係機関と連携を行いながら温かい子育て支援を行う。

3 達成数値目標

実施事業	定員	目標数	備考
こども園	115 人	119.0 人	保育所型
一時預かり	—	2.0 人／日	拠点園

4 その他

- ・園庭の経年による設備の劣化に伴い、改修工事の計画を進める。

中新田こども園 事業計画書

1 施設の基本方針

「かけがえのない幼児期に安定した園生活を送れるように、子ども一人ひとりと向い合った保育を進める」

- ・一人ひとりを大切にし、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（遊び）を一体的に展開する。
- ・楽しく落ち着いた環境の中で、たくさんの愛情を注ぎながら応答的かつ受容的な保育に努める。
- ・様々な自然に触れることで命の大切さや感謝の心を育み、豊かな感性を育む。
- ・園生活や活動を通して、自ら安全を守り危険を回避する運動能力を身につける。
- ・子どもの健やかな育ちを支えるために保護者や関係機関と適切に連携する。
- ・誰に対しても誠実な対応を心掛け、園児、保護者、地域に愛され、信頼されるこども園を目指す。

2 施設の重点目標

「子どもが主体的に遊びまた行動できるように、チーム保育でしっかりと支えていく」

園での遊びと生活を通してルールやマナーを学びながら、とことん遊びこめる、新しいことに挑戦することができる保育環境を整え、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えて行く。その実現に向けて全職員が自覚と責任、常に向上心を持って職務に取り組む。

3 達成数値目標

実施事業	定員	目標数	備考
こども園	83 人	83.0 人	

4 その他

- ・合併初年度となるため、園児・保護者・職員等に対して丁寧な対応を心掛け、良好な信頼関係を築く。
- ・働きやすい職場環境を整えるために、職員休憩室の整備（増築）を実施する。

地域子育て支援センターにこっと 事業計画書

1 施設の基本方針

「にこにこ☆にこっと」

乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を提供し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。

地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。

2 施設の基本事業

- ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進
- ・子育て等に関する相談、援助の実施
- ・地域の子育て関連情報の提供
- ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施（月1回以上）

3 達成数値目標

実施事業	目標数	備考
子育て支援センター	20.0 人／日	
子育て相談・援助	7.0 件／月	

4 その他

特になし